



TITLE:

当所の活動(1970年3月～1971年1月)
)

AUTHOR(S):

CITATION:

当所の活動(1970年3月～1971年1月). 木材研究資料 1971, 5: 50-51

ISSUE DATE:

1971-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/51306>

RIGHT:

当 所 の 活 動

(1970年3月～1971年1月)

講 演

第20回日本木材学会大会

(昭和45年9月6日～8日, 東京)

増田 稔, 満久 崇磨: 直交異方性偏平シェルの解析(Ⅱ)

石原 茂久, 満久 崇磨: 木質材料の防火に関する研究

金田 弘, 満久 崇磨: 木質材料の材質変化に関する研究—屋外暴露による細胞の変形と破壊

南 正院, 越島 哲夫, 満久 崇磨, 村木永之介: リグニンスルホン酸とメタクリル酸メチルのレドックス開始グラフト共重合(第2報)反応機構の考察

南 正院, 越島 哲夫, 満久 崇磨, 夜久富美子: リグニンスルホン酸とメタクリル酸メチルのレドックス開始グラフト共重合(第3報)グラフトポリマーの酸化分解

(木質材料部門)

前川 英一, 北尾弘一郎: 竹材から単離したアセチルキシランに Smith 分解法の試み

(木材化学部門)

則元 京, 山田 正: 木材の誘電特性(Ⅳ)セルロースの誘電特性について

Saw HLaing, 則元 京, 山田 正: 木材および化学処理材のねじり粘弾性

野村 隆哉, 山田 正: 木材組織のX線回折(木材中のミセル傾角の分布について)

大釜 敏正, 山田 正: 木材の高次構造と粘弾性について

(木材物理部門)

伊東 隆夫: 樹木形成層の細胞学的研究—とくに休止期と活動期について

伊東 隆夫: ポプラの1次木部形成に関する細胞学的研究

矢田 茂樹, 伊東 隆夫, 貴島 恒夫: ポプラにおけるせん孔板形成過程について

(木材生物部門)

佐藤 惺: 抽出成分と機器分析について

(リグニン化学部門)

第19回木研公開講演会

(昭和45年5月22日, 大阪科学技術センター)

山田 正: 木材の温度(低温)と物性

(木材物理部門)

木村 良次: 紙の通気性に関する一つの実験

伊東 隆夫: 樹木形成層の細胞学

(木材生物部門)

第20回木研公開講演会(昭和45年10月23日, 宇治)

石原 茂久: 含リン化合物による木材の防火

(木質材料部門)

榎 章郎: 樹脂酸の光化学

(木材化学部門)

貴島 恒夫: 東南アジア材組織の特徴

矢田 茂樹: 分化中の道管におけるせん孔板の形成と膜孔膜の分解について

(木材生物部門)

則元 京: 木材の誘電特性

(木材物理部門)

島田 幹夫: タケリグニンの生化学的研究

(リグニン化学部門)

リグニン化学討論会 (昭和45年10月8日札幌)

島田 幹夫, 樋口 隆昌: タケリグニンのメトキシル基生成に関する生化学的研究

島田 幹夫, 樋口 隆昌: タケおよびイネ科植物リグニン中の P-クマール酸 エステル結合に関する研究

樋口 隆昌, 荻野 桂作: コニフェリルアルコールの脱水素重合におよぼすヘミセルロースの影響

木材研究所25周年記念講演会 (昭和45年11月19日 京都大学宇治構内研究所大会議室)

木材研究所の変遷 木 研 所 長 北尾弘一郎
技術革新と木材 科学技術評論家 星野 芳郎
建築からみた木材 京 大 教 授 西山 卯三

その他

満久 崇磨: 人造木材について, 繊維学会関西支部, 昭和45年9月30日(大阪)

満久 崇磨: パーティクルボードについて, 日本木材加工技術協会関西支部, 建築部材としての木

質材料講演会，昭和45年10月16日（大阪）

（木質材料部門）

西本 孝一：防蟻に関する各種木材の耐蟻性と防除
薬剤の効果 昭和45年12月9日 大阪なにわ会
館（日本しろあり対策協会主催）

（木材生物部門）

海外出張

佐々木 光：オーストラリア連邦科学工業研究所，
林産試験場（Division of Forest Products，
C. S. I. R. O.）へ木質材料の力学的性質および
居住性に関する研究調査のため出張。昭和45年
4月7日～昭和47年4月6日。

角谷 和男：ニューヨーク州立大学林学部へ木材繊維の微細構造の研究，調査および木材形成研究の調査のため出張。昭和45年2月26日～昭和46年2月25日

その他

11月4日，Dr. Rudolf Borišek, Research Director, Pulp and Paper Research Institute, Bratislava および Dr. Miroslav Mahdalik, Head of Wood Biology and Chemistry Department, State Forest Products Research Institute, Bratislava が木材の化学的加工，リグニン，紙の利用などの視察のため来所した。